

平成24年度 第1回公民館運営審議会 議事録

日 時 平成25年2月20日（水） 午前10時～

場 所 柏原市立公民館 2階 多目的室

出席者 公民館運営審議会委員

山田勝久（会長）、浦野かをる（副会長）、茨木英夫、浦上隆、上井希子、
川本町子、日下部実子、田中秀昭、山本真見（委員は氏名50音順）

事務局

岡本彰司（生涯学習部長）、酒谷敬三郎（公民館長）、川崎一彦（公民館長補佐）、
菅原真純（公民館主査）

案 件

①平成24年度事業報告について

（1）第65回全国有料公民館表彰について

（2）部屋貸室使用状況について

（3）公民館講座開催状況について

（4）平成24年度 第25回柏原市民文化祭実施状況について

②平成25年度事業計画について

③その他

発言要旨ほか

①平成24年度事業報告について

（1）第65回全国有料公民館表彰について

会 長

優良公民館表彰について、事務局から報告をお願いします。

事務局

第65回全国優良公民館表彰を柏原市立公民館本館が受彰することができました。今回の応募につきましては、大阪府下で本市を含め4市の応募があったと聞いております。書類選考の後に大阪府教育委員会から、私ども柏原市立公民館本館と岸和田市立中央地区公民館の二館が推薦を受けまして、文部科学大臣から表彰を受けたものでございます。

受彰テーマは「市民学習向上の為に多彩な講座開催並びに講座カリキュラムや、講座終了後における自主学習による継続的な学習の場づくり」が評価されたものと聞いております。また内容については、開館時間が午前9時から午後9時まで、開館日におきましても年末年始の休日以外は開館し、市民の皆様に生涯学習の場の提供が大いにできているという評価であり、今回受彰できたものであると聞いております。

今回、優良公民館表彰を受けるにあたりましては、当館を含めて57の公民館が受彰しております。報告は以上でございます。

(2) 部屋貸室使用状況について

会 長

部屋貸室使用状況について報告をお願いします。

事務局

平成23年度と24年度の使用状況の増減につきましては、各館ごとの合計で申し上げますと、本館が23年度1,770件15,422人、24年度2,

100件53, 730人で34件761人の増加です。分館につきましては、堅下分館が23年度1, 569件、22、282人、24年度1, 637件、21, 889件で68件の増加、393人の減少となっています。国分分館は23年度914件12, 3030人、24年度899件11, 097人で15件、1, 206人の減少となっています。KIホールは23年度99件1, 213人、24年度97件1, 092人で2件、121人の減少となっています。分館の減少につきましては堅下で年間使用団体が2団体、国分で3団体が減少し、KIホールでは、会員数が減っている為です。

委員

堅下、国分で利用する団体が減った理由はわかりませんか。

事務局

まずは高齢で、館利用につきましては5名以上のグループからのご利用となっておりますので、どうしても自然減と申し上げたらよろしいのでしょうか、高齢になって来られて、指導者の方もそうなのですが、教えにくいということで、堅下分館で2団体、利用人数でいえば54名の減になっています。そのかける12か月でこの数字になろうかと思えます。

国分分館についても、3団体の68人の減になっています。いずれにしても、指導者の高齢化、会員メンバーの高齢化に伴っての減ということであると、各施設からは聞いております。

委員

わかりました。

委 員

国分合同会館について、区長会から聞いておいてほしいといわれています。あの建物がある土地は、土地を借りて土地代を何十年かの契約で支払しているとの状況がわかればと思っています。

事務局

国分合同会館は市有地に建てられており、借地ではありません。

委 員

わかりました。

(3) 公民館講座開催状況について

会 長

公民館講座開催状況について事務局から報告をお願いします。

事務局

一昨年まで「生涯学習講座」ということで春・秋の2回に分けて開催しております。今年度から「公民館講座」として開催しました。春につきましては陶芸講座、パッチワーク講座、押し花講座、俳句講座の4講座を開催しました。6月から概ね9月までの実施期間でございます。

秋につきましては、お菓子、ペン習字、水彩画、茶道、水墨画の5講座を主に11月から2月にかけて開催しました。特にこの中では、お菓子とペン習字に応募が多く、人気が高かったと考えております。

続いて教養基礎講座はおおむね10回程度の開催ならびに4日ないしは1日の講座です。語学については、英会話、韓国語入門講座の2講座を開催しまし

た。あと趣味的な講座及びパソコン講座等を開催しました。3月に「親子で作る木工講座」という新しい講座を計画しており、これは予定という形で入れており合計で13講座を開催する予定となっています。この中では特に語学の英会話と韓国語入門講座の人气が高かったです。パソコン入門講座も、初心者向けですが、非常に人气が高かった関係で、今年度9月と2月の2回開催しました。

続いて教養講座は主に大阪教育大学の教授に歴史・文学等を中心とした講座を5回シリーズで、6講座開催しました。昨年は古事記が編纂されて1300年を迎える年だったので、「古事記の謎を探る」というテーマで柏原歴史資料館運営協議会会長の塚口義信先生に講義していただきました。また大阪教育大学教授の小野恭靖先生に「中世文学の世界Ⅰ・Ⅱ」の2回シリーズで、和歌・能・狂言並びに日記紀行文学・軍記物語等の文学の世界を講義していただきました。また山田勝久先生には「遣唐使と日本文化」というテーマでご講義いただきました。

児島健次郎先生には「仏陀の道から仏像誕生」及び「大化改新から壬申の乱」の2講座をお願いいたしました。

また市民公開講座は10月30日に一般市民向けに広く講座を開きました。第一部が近畿財務局より金融調査官をお招きし、「金融犯罪に遭わないために」というテーマで昨今の振り込み詐欺等の最新情報と詐欺に遭わないための対策をDVDを交えまして解説していただきました。また2部では地元の東大阪大学柏原高等学校硬式野球部監督の田中秀昌氏を講師にお招きして、「栄光の架け橋」というテーマで甲子園出場の苦労話等をお聞かせ願いました。平成24

年度公民館講座については以上でございます。

会 長

ただいま説明がありました。何かご質問がありましたら、委員の先生方、お願いいたします。

委 員

東大阪大学附属柏原高校の田中先生の講演にはどれぐらいの参加がありましたか。

事務局

参加人員は80名です。

委 員

大講堂で80名ですか。私が聞いていたのとだいぶ違うので、確認するのですが。

事務局

机、イスを出すと、それぐらいの数になります。当日は大盛況で、田中先生も熱弁を振るっていただき、聞きに来た人には喜んで帰っていただきました。

委 員

わかりました。

副会長

私は文化連盟から出させていただいておりますので、要望をかねたお願いをしたいと思います。講座のことですが、短期講座が重点的になっているように思います。今度の市長は柏原が文化と教育の町とおっしゃっていますが、生涯

学習を重点に置いてほしいと思います。私たち文化連盟を今日のように大きくしていただいた原点というのは、講座というものを一年間通して行う生涯学習の中でそれぞれが学んできたものを、それに対しては市からのかなりの大きな援助があったために、講座から卒業した人たちが文化連盟に入って、より深く勉強しましょうという形をとり、定期的に三十年以上そういう形をとっていただいたのですが、それが今現在は卒業しても講座から文化連盟のクラブに入っ
て大いに勉強していくというシステムが全くなくなってしまっているのが非常に残念なので、できることならこれからの新時代を迎えて、今日は議員さん
もこうして出てきていただいているのでぜひ考えていただきたいと思うのは、
これからの時代は生涯学習ということを重点的に考えていただいて講座制度
も設けていただいて、より深く勉強ができるシステムを再構築というものを、
そういった観点を岡本生涯学習部長もいらっしゃるので、これをしっかりと耳
に止めていただいて、考え直していただけないかなと思います。要望を兼ねた
意見として運営審議会の中で申上げておかないと、考えていただけないという、
今現在の不安が的中しております。今までは講座を卒業した人のうち、かなり
の人が次の勉強をしようということで文化連盟に参加し、最高で 2000 名とい
う会員数が増えてきたのですが、今現在 1500 名を今年は割ろうとしておりま
す。そういったことは柏原市にとってマイナスだという風に考えておりますの
で、公民館講座というのは生涯学習を基準とした中で考えております。これは
要望を兼ねましたお願いでございますけれども、今これを見せていただいた中
でぜひともお願いしておきたいと思っております

会 長

私の方から一つだけですけれど、講座の申し込みが 10 人以上だと成立し、10 人以下ならば成立しないというふうに伝え聞いていたのですが、和紙ちぎり絵講座のように 5 名の申込みで参加 4 名とか、紙粘土講座ならば申し込みが 6 名で参加 5 名というので、開催するというのはどういう意味で開催されたのでしょうか。

事務局

先ず和紙ちぎり絵講座は今年度初めて開催したものですから、新規の講座なので、先ずやってみようという形で開催しました。もう一つの紙粘土の方は二日間の短期講座ですので、クリスマスに向けての講座とさせていただきましたので、申し込みは少なかったのですが、短期ということで開催に踏み切りました。

会 長

そういうことなら了解しました。

事務局

公民館というのは、市民の方に生涯学習の場を提供するのが第一の施設であると考えております。定員が 10 名に満たなくて、日頃より待ち続けていただいているものなのに、毎回毎回 10 人足らずでキャンセルという講座もございます。そういうものを拾ってでも実施したのが昨年状態でございます。

先ほどの話と重複するのですが、公民館講座というものは、先ほど副会長がおっしゃった一年間通して学ぶべき場というのを、公民館をご利用していただいて、講師の方を立てていただいて共存していたのが、今までの姿であったと聞

いておりますし、現実そうでした。しかし、それで10名の最低人数が集まらなくて、開講ができなかったというのが、ここ近年、何年も続いていた状態です。そこで昨年の分を例にとりましたら、中止講座はこの実績には取り上げていないのですが、油絵入門講座が10人未満で中止になっています。そして生け花講座も中止させていただいています。料理講座も中止、書道講座も中止で4講座が中止で、月3回6月から9月の4か月の講座でも中止になってしまっているのが近年の現状です。直近の幾年かの話ですけれども、なぜかということで分析をして、公民館として公民館講座を広く長く皆さんにいそんでもらいますのが考えでございますが、開講できなければ意味がないじゃないかという観点に協議を行いまして、つらいですが三か月単位の予定が立つ、世の中の仕組みがまだまだ不景気でございますので、市民が生涯学習に勤しむ機会より、収入を得る機会を重要視する世の中の流れになっているので、少しでもきっかけづくりということで四か月にわたっての月三回のペースでやって居ったのです。一年間通してというのも、月2回の開催でした。ですから第2と第4、第1と第3の同じ曜日の繰り返しで11か月続けてもらっていたのですが、欠席をすると2週間学習の機会から遠のくわけです。ですからそこから脱落していかれる方も多いので、ひとつのきっかけとなるために4か月、春・秋の2回を企画しているのが現状でございます。決してこの姿のままで行くつもりはございませんし、長く続けていただく講座づくりを考えておりますので、その点、委員の先生方のご意見を頂戴できれば何よりでございますので、よろしくお願いいたします。

会 長

そうしますと、10名というのは固定・確定したのではなく、一応の目安ということですか。

事務局

市のシステムの一画として公民館がありますので、受益者負担もありますが、講師としてきていただければ講師料を支払うことはもちろんのことですので、一回200円という参加料が講師料とは程遠い比率割合になるのですが、やはり受益者負担を考えていくべきじゃないかということで、有料化と最低人数を公民館から示したのが過去にあります。それをずっと今まで金額も上げずに、定員10名というのを引き継いでいるのが現状です。

会 長

そうしますと、今後は10名というのも流動化があるのでしょうか。

事務局

10名は10名として、先ほど申しあげましたとおり5名であったとしても、市民の方々が待ち望んでおられる講座であれば公民館の中で部長ともども相談の上、開講に向けて努力しているのが現状です。

副会長

今事務局のお話を聞いていて、今この世の中が殺伐としているというのか、我々がこの公民館を利用していた三十年以上も前の話ですと、何かを学びたいという気持ちが多くて、結婚して生活する中で、自分の生涯学習というものを考えていく中で何かを学びたいという人が多かったから、確かにこういう講座があるのならば行ってまた学びたいという気持ちは強かったと思います。だけ

ど今はこういう時代もあって、パートに行ったり働きに行く事自体に重点を置かれるというのが多くなった世の中ではあるのですが、ただやはり公民館の中で今までの考えていた中では、今の講座の形になったのが7－8年前ですが、以前の講座の中でも、その講座によってはある程度の期間がないとできない、たとえば我々が日本画を習ったときは一年間を通すから、30回という回数の中で一から教わって行って卒業するころに通りマスターできる。より深く勉強するためにクラブに行くといった形で、学校と一緒に、それだけのものを学んで来ようとする、それと3か月講座のように3回で完成するというものと、日本画や書道のように時間をかけないと習得できないものがあると思います。そういったものすべてを考え直してやってくれと言っているわけではなくて、そういう風なものもやはり必要ではないかなと思うわけです。だからできることなら、それを講座というものを考えていただけたら、これは無くてはならないものと私は思っております。だから、そういう学ぶ中で続けるということの意味を考えていただけたらと、三か月講座で早くやると、この10名ということで応募をカットするということになれば、その方たちは入っていないわけですから、そういった人たちには学びたいという気持ちはあるわけです。この短期ということだけではどうかなということも、やっぱりもう一度考えていただけたらなと思っているのです。

事務局

もちろんのご意見だと思っております。この中でいえば、パッチワーク講座などは時間をかけて家でもやって一つの品物を作ることになっており、講師の先生とも話し合っ、6月から9月の4か月では終わってないのです。

ですから、宿題の期間もある、ここへ来ての2時間のスタンスではとてもできない、ということを講師の先生から言われましたら、これを7か月なりの期間をかけて開催しているのが確かでございます、ご意見を頂戴しまして、講座によってはできる範囲を私どもは春・秋の開催時期は頭を決めますけれども、開催期間は必ず4か月で終わるということは全然考えておりませんので、その点は講師の先生と今後もより充実した内容づくりを考えていきたいと思えます。

(4) 平成24年度第25回柏原市民文化祭実施状況について

会 長

市民文化祭実施状況について、事務局から報告をお願いします。

事務局

毎年10月初めから半ばにかけて市民文化センターでは主に美術展、手工芸展、生活文化展、書道生花展、柏原西東婦人文化展等、主に展示会系のイベントを行っております。また国分婦人文化展が国分合同会館でも開かれております。そして文芸祭りは堅下合同会館で、舞台発表を中心とする歌謡まつり、音楽まつり、謡曲まつり、芸能まつりはリビエールホールで行われております。そして広く柏原市内を中心に史跡を巡っていただく市民史跡巡りがございます。

また市民囲碁大会は市民文化センターで開かれております。そしてふれあいサロン、これは御茶席や軽食・喫茶でございますが、各会場で行われております。

このように公民館本館・分館及びリビエールホールで広く開催されている市民参加の文化祭でございます。参加人数は全体で平成 23 年度が出品者、出演者、観覧者あわせて 16,943 人、平成 24 年度は 17,244 人で 301 名の増加となっております。

会 長

今の報告につきまして、ご意見はございますか。

委 員

市婦協がなくなっていると聞いているのですが、今ここに国分婦人会や柏原西・東の文化展が書いてありますが、これはもうなくなっていくのですか、それとも存続するのでしょうか。市の方からの補助金がなくなったのに、市民文化祭に参加できるのでしょうか。

事務局（岡本生涯学習部長）

婦人会連合会に対しては去年までは活動していただいていたので補助金がありましたが、個々にそれぞれの婦人会は活動していただいていますので、個々の婦人会に対しての要請はさせていただいております。単体で、国分婦人会、西婦人会、東婦人会としてお願いする場合はあります。

委 員

わかりました。

事務局

ふれあいサロンについては出てもらわないとは言っておりません。東婦人会のように組織が解散したところでも、活動は続けておられるのですから名前を変えて、別組織としてでも参加して頂こうと思っております。

②平成25年度事業計画について

会 長

平成25年度事業計画について事務局から説明をお願いします。

事務局

部屋貸室業務は、本館では増えていますが、他の館では減っているという状況ですので、広報『かしわら』や市のホームページの公民館のコーナーで案内の記載を載せて、市民に対する周知を行い、貸室の稼働率アップに努めたいと考えております。また公民館紹介の新しいパンフレットも近々作る予定で検討しておりますので、よろしく願いいたします。

公民館講座事業は生涯を通じて自己の知識教養を高め、趣味を豊かにするために地元の教育大学との連携を図るとともに市民の意向を反映した幅広いジャンルの企画を立案して、多様な学習機会の提供を図り、市民の方が一人でも多く参加していただける学習の場・交わりの場となるように努めて参ります。その中で、先ず春秋の2回に分けて行われる公民館講座は6月からの開講で春の講座、ペン習字、陶芸、パッチワーク、料理、水彩画、水墨画の6講座を予定しております。11月からの秋につきましてはお菓子作り、茶道、俳句、油絵、書道、押し花、生花の7講座を予定しております。

教養基礎講座は大阪教育大学教授による教養講座を中心に語学・趣味などの講座を開催していきます。1講座5回で25年度は6コースを予定しております。語学講座は人気が高い英会話、韓国語に加えて来年度はフランス語の入門講座を新規に開講する予定でございます。

その他着物の着付けとツルによる籠講座、或は囲碁の入門講座などを考えております。短期講座につきましては、短期集中型ということで、4日連続のパソコン講座、2日から5日等の粘土工芸講座などを予定しています。1日講座は1日の短期集中型ということで、昨年も人気のあった夏に向けての浴衣の着付け講座、親子の木工講座などを予定しております。

市民文化祭につきましては、市民文化センターでは展示部門を中心に、またリビエールホールでは舞台部門を中心に音楽まつり、芸能まつりなど多種多様な催しを行い、より多くの市民の方が参加できる市民参加型の文化祭の開催に努めて参ります。来年度につきましては第26回ということで10月12日から20日までを予定しており、まず第1週は10月12日(土)から13日(日)で、式典はリビエールホールで13日を予定しております。第2週は14日(祝)から16日(水)まで、第3週は19日(土)から20日(日)を予定しております。

会 長

ただ今の説明について、ご質問、ご意見はございませんか。

(委員発言なし)

会 長

ただいまの説明の通り部屋貸しについては稼働率アップに努めるという報告がありました。また公民館講座につきましては市民のための多様な講座が計画されています。市民文化祭については、市民参加型を目指しています。このことについて、ご意見はございますか。

(委員からの発言なし)

それでは案件を終わりにして、ご要望・ご意見がありましたらお話してください。

委員

貸室の稼働率アップのお話が出ましたが、K I ホールの利用は増やせないでしょうか。たとえば、あそこで講座の開催は無理でしょうか。非常にもったいないような気がします。市のバスを止めていただくことはできないでしょうか。

副会長

バスの本数が少ないので、行くときは行けても帰りが無い。時間帯の入れ替えはできませんか。

事務局（生涯学習部長）

利用者が増えてきたらできるかもしれませんが、今の状況ではなかなか難しいです。あそこはある程度駐車場も完備しているので、車でも行けると考えています。

委員

教育関係でも公民館を利用させていただいてどうもありがとうございます。先日も公立幼稚園展や支援学級展で利用させていただきました。支援学級展では市内公立小中学校の障害のある生徒さんの作品展を講堂で開催しました。また12月には支援学級の卒業生を送る会が行われます。そういう場合は全支援学級の生徒さんが来館することになるんですが、その中には10数名の肢体不自由児の生徒さんがおられて、その中にトイレを使用する際に、男子生徒なんですけど、洋式のトイレしか使えないのですが、3階にはなくて、2階のトイレを使用しましたが、少し難儀をしたと聞いております。障害のある児童だけ

ではなくて、これからはたくさんの方が洋式トイレを使われると思いますので、現在の設置の状況とこれから増やしていかれる計画がありましたらお聞かせ願いたいと思います。

事務局

文化センターでのトイレの設置状況を各階について申し上げますと、1階は男子トイレに和式が一つ、女子トイレに和式洋式が各一つずつございます。2階は男子トイレに和式洋式が各一つずつ、女子トイレは和式が二つ、洋式が一つです。3階は男子が和式二つ、女子は和式が二つ、洋式が一つとなっております。いずれにしても男子用の洋式トイレは2階にしかありません。障害のある不全の生徒さんが使用されるにあたって、生徒さん専用の器具を洋式トイレにつけて使用されたと聞いております。その器具は現在の洋式トイレでないとはいめ込むことができない。障害者用のトイレは1階にありますが、何分旧式のため、使えないそうです。またこのご時世ですので、私自身館長に就任して以来、古い施設ですので、できるだけ手を加えて改善しておりますが、水回りは大変高くつきますが、和式はつらいということで、当局に申し上げておるのですが、洋式トイレは最低でも各階に一つは必要だと思っています。そのように現課では要望していきたいと思っております

会 長

さまざまな形で温かい支援をしていくということですが、生涯学習部長は今の委員のご意見についてどのようにお考えですか。

事務局（生涯学習部長）

こういう不特定多数の方々が使う建物ですので、基本的にはそういった要望

も取り入れていかなければならないと思っているのですが、財政状況をにらんだ話になりますので、できれば毎年一つずつでも実現できるように考えていこうと思っています。

委 員

柏原市の施設は障害者のための設備が遅れているということは認識しております。現在、平成25年度の予算を審議していますが、市長が変わって骨格予算だけでも去年の予算を越えてしまっており、税収も不足しているという状況も認識しているのですが、この問題につきましては議会全体でも考えていきたいと思えます。また要望もしていきたいと思っています。

委 員

市内の公共施設とか、体育館についても、今までから要望をいただいて議会の方へ要望もしているのですが、なかなか予算がないというお話もお聞きしているのですが、今のお話もお聞きしたので、ひきつづき要望していきたいと思っています。

会 長

それでは、平成24年度第1回公民館運営審議会を終わらせていただきます。